

第3号 生活習慣病センターだより

～思わぬところでおきる、低温やけど～

2014.12月発行

冬の訪れを感じさせる今日この頃、暖房など暖かいものが恋しい季節になりました。そろそろ、暖房器具やカイロなど使い始めている方も多いのではないのでしょうか？この時期、気を付けていただきたいのがやけどです。

やけどは熱いものばかりでなく、「温かく、気持ちがいい」程度の温度でも、長時間触れることで低温やけどをおこす場合があります。低温やけどはゆっくり進行するために、熱さや痛みを感じにくく、気づいた時には皮膚の深いところまで達する重度のやけどになっている場合が多く見られます。

糖尿病の方や閉塞動脈硬化症の方は特に注意が必要です。足の血流が悪くなると冷えを感じることが多いため、暖房器具の使用も多くなりがちです。低温やけどのリスクが高まり、一度やけどをおこすと治りにくくなります。また糖尿病の方は動脈硬化に加えて神経障害が起こると足の痛みや温度の感覚が鈍るため、やけどに気づくのが遅れて重症化することもあります。さらに免疫力が低下するため感染症を起こしやすく、最悪の場合は足の切断に至ることもあります。

低温やけどは糖尿病の方だけではなく、ものすごく身近にも潜んでいます。

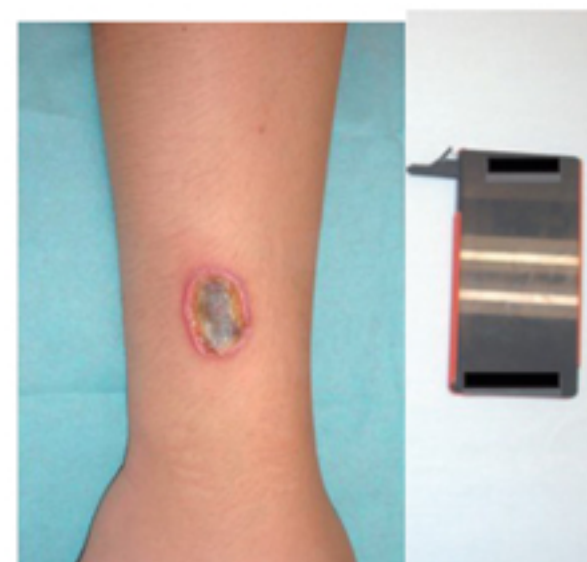
最近ますます使用頻度が増すスマートフォン。そのスマートフォンによる低温やけどが増加しています。国民生活センターによると、全国の消費生活センターなどに平成24年度で523件の苦情が寄せられ、そのうち64件がやけどの事例であったようです。機種によってはアプリやテレビ電話の約10分間の使用で本体の温度が最大約58度上がる場合もあるようです。

スマホ本体の温度が上がったまま約8分間通話を続け、頬に低温やけどを負った20代女性や、スマホゲームをしながらうたた寝をし前腕に低温やけどを負った20代男性などの報告が見受けられます。

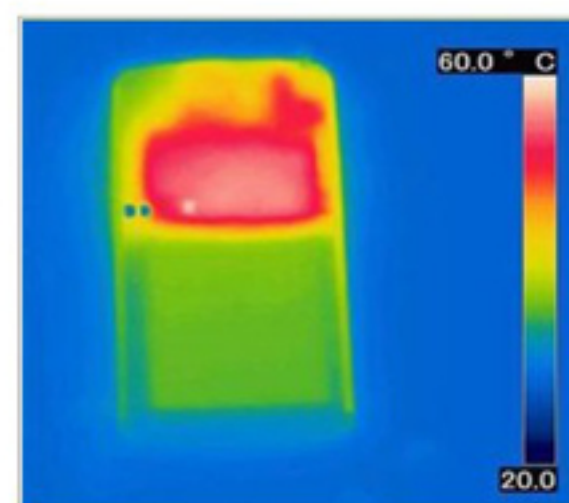
皆様、熱源にはよくよく注意していただき、暖かい冬をお過ごし下さい。



アンカによる低温やけど



20歳男性、スマホゲーム中うたた寝をし右前腕に受傷



使用中発熱するスマホのサーモグラフィー

日時	教室名	内容
1月5日(月) 15:00～	肝臓病教室(総論)	肝臓の働き、疾患、症状、検査
1月19日(月) 14:30～	糖尿病教室	糖尿病とは、糖尿病の食事療法、薬物療法
1月26日(月) 15:00～	肝臓病教室(各論)	肝硬変②(治療と症状への対処)
2月9日(月) 15:00～	肝臓病教室(総論)	肝臓病の治療とは、薬物療法、日常生活における注意
2月16日(月) 14:30～	糖尿病教室	糖尿病の合併症と運動療法、フットケアと日常生活
2月23日(木) 14:30～	肝臓病教室(各論)	肝臓がん(病態、主な治療とその看護)
2月26日(月) 15:00～	生活習慣病教室	虚血性心疾患
3月9日(月) 15:00～	生活習慣病教室・肝臓病教室	脂肪肝
3月16日(月) 15:00～	生活習慣病教室	生活習慣病予防のための食事療法のポイント ～実践編～
3月23日(月) 15:00～	肝臓病教室(各論)	自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変

場所:生活習慣病センター・学習ひろば(1F) 参加費・申し込み:不要 わかりやすい講義です